

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。
そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みを
ご紹介させていただきます!



時を超えて愛され続ける和紙の風合いを 活かして日々をいろどる

～「貼る」技が生み出す

よそおう、いろどる、つつむ、はさむ～

株式会社播磨紙粧 代表取締役 中澤 康樹 氏



和紙クリアファイル



アクセサリ



和紙にPPシートを貼り合わせる機械

書物、建具など用途は多岐に渡り、古来から日本の文化を支える和紙。独特の風合いは特別感や高級感を演出し、永きに渡って重宝されてきた。しかし、繊維ゆえに破れやすかったり、水に弱かったり、和紙単体として進出しにくい分野があったのは確かだ。そこで開発されたのが、ラミネート加工技術で和紙とポリプロピレン (PP) のシートを貼り合わせた素材。和紙の風合いはそのままに、破れないという新しい価値を手に入れた。やさしく、つよく、しなやかな特性を活かして“和の華やぎを姫路から世界へ”届けよう、と「紙粧ブランド」育成のために日夜努力を続けている。

創業からの歩みと紙粧の進歩

(株)播磨紙粧は、昭和37年、現社長の中澤氏の父が創業。地場産業であるマッチ箱の表面加工を生業としていた。しかし、廉価なライターの普及で、マッチの生産は衰退。同社も生き残りをかけてラミネート加工の会社へ転換を図った。その後、ラミネート加工技術を活かした“オンリーワンの技術”を探り続け、「紙粧」と名付けた素材に辿り着いたのである。

この発想を活かして生み出されたのが和柄のクリアファイル。当初は、和柄をプリントしたクリアファイルの上に和紙を貼りつけており、和紙によって和柄がぼやけてしまうのが難点であった。試行錯誤の末、和紙の上にもプリントでき、箔押しも施せるように改良。クリアファイルの表面に和紙の

風合いを残したまま、しっかりと柄も見え、かつ高級感も付加することができるようになった。その結果、有名デパートの販促品や、国際会議のおもてなしグッズなどにも採用されたことをきっかけに、現在は、美術館の展示会の際に使用されている。

また、紙粧ブランドを発信する1つとして、「SHISHO and」というアクセサリを大阪の女性デザイナーと共同で制作。紙粧にビジュ（宝石）やパール、ファーなどを組み合わせ、ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、カメラのブローチなどを取り揃え、カラーも豊富に展開している。存在感がありながらも、身につけていることを忘れるくらい軽いのが魅力的。和紙の風合いと現代っぽさが融合して、女性たちの日々をいろどる。

他にも、カップホルダーやコースターなどのキッチン雑貨やカレンダー、ギフトボックスなどにも加工でき、日々の暮らしにいろどりを添える。

今後の展望

現在、「SHISHO and」の販売は同社のHPからのみとなっている。和紙独特の風合いや軽量感、写真では伝わりにくい点、実際に手にとってもらう機会を増やしていくことでファンを増やしていきたい。今後は、展示会にも出展し、紙粧ブランドを発信していけたら、と意欲的に語った。

DATA

事業内容：印刷紙光沢加工、ラミネート、箔押し、浮出
所在地：〒672-8015 姫路市八家1290番地
電話：079-245-0535 FAX:079-246-3822
MAIL：harimashisho.co@lily.ocn.ne.jp